

## 人が足りない時こそノーリフティングケアを！

### ～環境改善に取り組む～



(1期生・先行モデル施設)  
那珂川福祉会  
特別養護老人ホーム ねむのき

## <施設の概要>

### <社会福祉法人 那珂川福祉会>

あじさい ⇒ 介護老人保健施設

デイケア

こでまり ⇒ 介護付き有料老人ホーム

ねむのき ⇒ 特別養護老人ホーム

(従来型・地域密着型ユニット)

デイサービス

認知症対応型デイサービス

居宅介護支援事業所

ホームヘルプサービス

## <2年後の職員と福祉用具利用者の変化>

2022年

入所定員 50名  
平均要介護度 4.2  
介護職員数 23名  
リフト対象利用者 9名  
スライディングボード  
対象者 9名

2024年

入所定員 50名  
平均要介護度 4.2  
介護職員数 20名  
(パート勤務1名 外国人労働者1名)  
リフト対象利用者 2名  
スライディングボード対象者 13名  
段トール対象者 9名

## <所有する福祉用具①>

- ▶ 床走行リフト 6台
- ▶ 入浴用床走行リフト 1台
- ▶ スタンディングリフト 3台  
(ミニリフト1台・スマイル2台)
- ▶ スライディングボード 7枚
- ▶ スライディングシート 17枚

### 床走行リフト



床走行リフト (フロア用)



床走行リフト (入浴用)

## <所有する福祉用具②>

### スタンディングリフト



スマイル (手動)



ミニリフト (電動)

### スライディングボード



イージーグライド (標準・ロング)  
つばさ

## <ねむのきの問題点>

(※令和6年12月 取り組み施設から福岡県へ陳情した要望書より)

- ① 「介護職員の腰痛をなくす」という意識が業界全体に浸透しきれていない点
- ② 「ノーリフティングケア」の実践には技術指導が必須だが、指導者の数が限られている点
- ③ 自施設の業務が人手枯渇により、指導ができにくい状況である点
- ④ 指導者研修を受講した職員（指導者）に負担が重なっている点
- ⑤ 福祉用具の整備のための資金が不足している点

上記の①・②・③・④に当てはまる。特に人手の枯渇による影響が大きく、職員のほとんどは

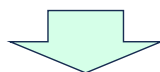
「人を雇用して増やしてほしい」という訴えが続く。  
施設長、現場役職より枯渇問題の説明は行っているが、なかなか伝わらず。

⇒人手が少なくてもノーリフティングケアが実施できる体制作りが必要！

## ケアプランは現場の実情に合わせて対応

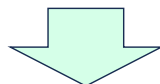
ケアプランで決められた移乗方法は「リフトでの移乗」

忙しい状況では、隠れてリフト対象者の抱え上げを行う職員も.....隠れて抱え上げを行う理由はなに？



定められた移乗方法は理解できており、ノーリフティングケアの必要性も理解できている。

実施したくてもできないのではないかな？



ケアプラン内容を変更。移乗方法を「リフト・段トールでの移乗」に変えることで抱え上げを無くすことが出来た。（時間に余裕がある際や年齢的に身体に負担のある方はリフトを使用している。）

## ねむのき、今注目の移乗手段

<段トール・スライディングシートの活用>

対象者の  
全居室に設置

### スライディングシート

品名 : 移座えもんシート  
会社 : Moritoh (モリトー)  
サイズ: ML 750mm×1200mm

### 段トール

職員が作成  
材料 :  
プラスチック段ボールとテープのみ  
材料費: 1枚当たり約300円程  
サイズ: 約520mm×約920mm×4mm



## <ねむのきの今>

職員数の減少で大きな進歩は出来ておらず。しかし、少ない人数だからできないという理由は作らず、出来る事はなにかを考える。助成金を活用し介護機器の導入計画を立案。

施設でノーリフティングケアを行う為の時間確保。  
介護機器を導入し職員の負担軽減と必要職員数の軽減を図りノーリフティングケアが実施できる環境作りを行う。

## 入浴介助対策とその効果 ①

### <介護機器 導入計画 センサー付きベッド>



(見守りケアシステム M-2)

- ▶センサー付きの為、レイアウト変更が楽に。
- ▶体重の測定も可能。業務改善。
- ▶従来センサーの耐用年数は3年、M-2は10年程。修理費減少。
- ▶体動、起き上がりのデータが残るので評価がしやすい。

## 入浴介助対策とその効果 ②

### <介護機器 導入計画 シャワーバス>



(Sereno セレーノ HK-3100G)

- ▶排便のある方は貯水タイプの機械浴になかなか入浴できなかった現状。  
そのような方でもシャワー浴の為、入浴が可能。
- ▶貯水しない為、ストレッチャー挿入後すぐに入浴できる。
- ▶入浴したまま洗身、洗髪をするため時間・入浴職員の減少に。
- ▶バスチェアで座位保持が出来なかった方も対象に。
- ▶節水効果。
- ▶保温効果バッチリ！

## <まとめ>

介護職員の枯渇問題はどの施設も同じ。  
職員が少ない、忙しいからノーリフティングケアをしないのではなく、今後も少なくなっていくからこそその環境改善をしなくてはならない。

目的は「福祉用具の使用」ではなく「ご利用者、職員共に安心で安全な介護」。  
最善策は取れなくても施設でできる事はなにかを考え、広い視野と幅のある対応策で施設で少しずつでもノーリフティングケアが進行していく事が大事。